

## [010] 中国文学論集表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/9882>

---

出版情報：中国文学論集. 10, 1981-11-01. 九州大学中国文学会  
バージョン：published  
権利関係：



# 中國文學論集既刊總目錄一

(1970年創刊號～1981年第十號)

中國文學論集  
第十號

## 1 總記

「中國文學論集」の發刊によせて

目加田 誠 一

「中国文芸座談会ノート」総目録

一

濱 一衛教授 研究業績

四

濱 一衛教授 略歴

四

濱さんのこと

目加田 誠 四

中國文學論集既刊總目錄一

十

## 2 先秦

唐勒及其佚文 一楚辭新資料一

饒 宗頤 九

## 3 漢

揚雄の文學・儒學とその立場

岡村 繁 四

## 4 魏晉南北朝

阮籍詠懷詩における表現方法の特異性について

由元由美子 五

魏晉の遊仙詩における郭璞の位置

由元由美子 四

袁宏『名士傳』と戴逵『竹林七賢論』

松浦 崇 六

張騫『文士傳』について

松浦 崇 七

鍾嶸の文學理念

林田愼之助 七

中國「鏡」説話考

多賀 浪砂 六

東魏における文學思潮 一温子昇の文學を通じて一

矢嶋 徹輔 三

魏收の文學傾向について

矢嶋 徹輔 四

書評：林田愼之助著『中國中世文學評論史』

小西 昇 九

書評：増田清秀著『樂府の歴史的研究』

岡村 繁 五

書評：宇都宮清吉譯『顔氏家訓』

岡村 繁 一

## 5 唐

初唐歴史家の文學思想

一太宗期編纂の前代史文苑傳序を中心に一

古川 末喜 九

續・初唐歴史家の文學思想	古川 末喜	十
初唐四傑の文學思想	古川 末喜	八
景龍宮廷文學の創作基盤	安東 俊六	三
初唐詩の作者・作品に関する異説について		
—宋之間の詩のばあい—	安東 俊六	二
顧況の諷刺詩 —上古什補亡訓傳十三章について—	小西 昇	四
李華の思想と文學	劉 三富	四
獨孤及の文學について	劉 三富	五
白居易に於ける詩人薄命の認識について	二宮 俊博	八
洛陽時代の白居易 —「狂」という自己意識について—	二宮 俊博	十九
杜牧の散文について —その思想的基盤の解明—	愛甲 弘志	九
杜牧と韓愈との關係について	愛甲 弘志	十
溫庭筠の「乾牒子」について	諸井 耕二	二
敦煌卷子俗寫文字與俗文學之研究	潘 重規	十
書評：郭沫若著『李白與杜甫』の「関于杜甫」について	安東 俊六	四
書評：原田憲雄氏の李賀論文	上尾 龍介	三
書評：近藤春雄著『唐代小説の研究』	岡村 繁	八
<b>6 宋</b>		
宋詩の學問性	合山 究	一
贈答品に関する詩にあらわれた宋代文人の趣味的交遊生活	合山 究	二
蘇東坡における卑俗の高雅化	合山 究	四
朱熹の蘇學批判 —序説—	合山 究	三
李清照の創作について	垂永 英彦	一
書評：張健著「朱熹の文學批評研究」	林田愼之助	二
<b>7 金 元</b>		
資料紹介：劉念茲氏の「從建國後發現的一些文物看金元雜劇在平陽地區的發展」	林田愼之助	四
<b>8 明</b>		
原『翦燈新話』の刊期	秋吉久紀夫	七
戲曲作家李開先の文學觀 —南曲「傍粧台」を中心に—	阿部 泰記	五
袁中郎の性靈説 —その動搖と歸結—	西村 秀人	十

## 『古今小説』の編纂方法 一その對偶構成について一

福滿 正博 十

## 9 清

語り物の叙述形式について

阿部 泰記 八

『聊齋誌異』 一清初の寓意小説一

阿部 泰記 十

顧炎武の詩における自己表出と自我の形象化

藤井 良雄 八

崔述『讀風偶識』の著述意圖について

藤井 良雄 六

崔述の文學思想について

藤井 良雄 七

呉偉業「琵琶行」における白居易「琵琶行」の受容

竹村 則行 十

康熙十八年博學鴻詞科と清朝文學の出發

竹村 則行 九

龔自珍における詩の原理

竹村 則行 五

乾隆時代と龔自珍

竹村 則行 六

「孽海花」における創作態度

一その〈二十回本〉と〈三十回本〉との比較一

麥生登美江 二

曾樸の文學論と「孽海花」

麥生登美江 三

『孽海花』の文體 一美への追求一

麥生登美江 四

『九命奇冤』と『梁天來』

麥生登美江 五

南山俗語考の音韻について

中田 喜勝 一

## 10 現 代

魯迅舊詩『自題小像』考 一その「打油」詩として試論一

山田 敬三 四

魯迅その小説の思想

林田愼之助 九

海豊・陸豊地區の文藝運動

秋吉久紀夫 一

抗日戰爭前の延安地區文學運動 上

秋吉久紀夫 四

華北根據地の詩運動

秋吉久紀夫 五

中國イデオロギー論序説

一中國イデオロギー論の成立根據一

中屋敷 宏 六

左連結成の思想

中屋敷 宏 一

整風運動の研究 一四好中隊運動の論理一

中屋敷 宏 四

中國東北地區の文學運動

坂本 正博 九

『毛主席詩詞』の『批注』について

鹽見 敦郎 六

書評：山田敬三著『魯迅の世界』

永末 嘉孝 七

書評：秋吉久紀夫著『華北根據地の文學運動—抗日戦期の

成長と發展一』

高向 洋人 六

書評：林田愼之助著『魯迅のなかの古典』

山田 敬三 十

資料紹介：門司勝氏の「藤野先生の思い出」

林田愼之助 三

藤野先生の思い出

門司 勝 三

11 比較文學

人虎傳と山月記

上尾 龍介 四

日本における京劇—その演目と俳優—

濱 一衛 四

